

「medicina」 第 23 卷 総目次

1986 年 第 1 号～第 12 号

数字は通巻頁数、() 内は号数、13 号は臨時増刊特集号です。

〔今月の主題〕

不整脈診療の実際 (1)

不整脈診療の実際 (editorial)	村山 正博	6
〈不整脈診療の基礎知識〉		
不整脈発生機序に関する最近の考え方	沢登 徹	8
不整脈分類の考え方と方法	松尾 博司・他	14
マッピングから得られた新しい知識	太田 壽城	18
抗不整脈薬の臨床薬理と副作用	花栗 睦和	21
〈不整脈の診断〉		
不整脈診断についての問診のポイント	山田 辰一	26
不整脈外来診断の手法	高柳 寛	28
不整脈診断におけるホルター心電図の効用	武者 春樹	32
不整脈診断における運動負荷試験の効用	川久保 清	36
電気生理学的検査からわかること	野崎 彰	38
〈不整脈治療の実際〉		
治療を要する不整脈と要しない不整脈	吉本 信雄	44
抗不整脈薬の使い方の手順	三宅 良彦・他	49
不整脈死と緊急治療	藤原 秀臣・他	52
抗不整脈薬の効果判定	飯田 信子・他	54
上室性不整脈の治療法の実際	中島 敏明・他	56
心室性不整脈の治療法の実際	戸田 爲久・他	62
徐脈性不整脈の治療法の実際	山口 巖・他	66
不整脈治療の外科適応	古瀬 彰	72
〈各種領域における不整脈診療の特殊性〉		
CCU における不整脈管理—心室細動を中心に	田中 啓治	74
虚血性心疾患慢性期における不整脈管理	加藤 敏平	76
心筋症と不整脈診療	櫻井恒太郎	80
弁膜症と不整脈診療	諸岡 成徳	82
小児における不整脈診療の特殊性	新村 一郎	84
老人における不整脈診療の特殊性	丹羽 明博	86
スポーツ医学における不整脈診療の特殊性	小堀 悦孝・他	88
薬剤副作用としての不整脈		

関谷宗一郎・他	92
〈鼎 談〉	
不整脈診療の実際	新村 一郎
松下 哲・村山 正博	94
今月の主題・理解のための 10 題	村山 正博
	106
止血機構とその異常 (2)	
血小板、血液凝固、線溶	
—最近の進歩	山中 學
	192
止血機構—本主題理解のために	池田 康夫
	194
〈トピックス〉	
プロテイン C、トロノモジュリンによる凝固制御	鈴木 宏治
	200
線溶機構とその先天異常	坂田 洋一
	204
遺伝子工学と凝固因子	谷本 光音・他
	208
血管内皮下組織への血小板粘着機序	池田 康夫
	212
血管内皮細胞と止血機構	井川 武洋
	216
〈出血性疾患の臨床：病態とその診断〉	
特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	村上 博
	218
先天性血小板機能異常症	田上憲次郎
	222
von Willebrand 病	吉岡 章
	224
血友病	風間 睦美
	228
循環抗凝固物質	山田 兼雄
	232
フィブリノゲンの分子異常	松田 道生
	234
薬剤起因性の出血傾向	久米 章司・他
	238
ビタミン K 欠乏症	白幡 聡・他
	242
全身性疾患と出血傾向	小林 紀夫
	246
血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)	久住 静代・他
	250
〈出血・凝固検査〉	
止血異常診断の手順	渡辺 清明
	252
von Willebrand 因子 multimer の分析	山本美保子
	258
合成基質による凝固プロテアーゼの測定法	川畑俊一郎・他
	261
〈治療の進歩〉	
von Willebrand 病の DDAVP 療法	高橋 芳右
	264
血友病インヒビターのバイパス療法	藤巻 道男・他
	268
DIC：治療の動向	松田 保・他
	272
特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)：治療の動向	野村 武夫
	276

濃縮血小板血漿製剤の保存期間の延長	神谷 忠
	280
外科手術における止血管理	
—心臓外科手術	林 久恵・他
	284
—肝切除術	左近 賢人・他
	288
輸血と成人 T 細胞白血病ウイルス	市丸 道人
	292
〈鼎 談〉	
出血性疾患の治療の実際	吉田 信彦
	296
池松正次郎・安藤 泰彦	296
今月の主題・理解のための 10 題	池田 康夫
	310
アルコール障害 (3)	
アルコール医学—最近の進歩	石井 裕正
	386
〈アルコールの代謝をめぐって〉	
アルコール代謝と生体への影響	松田 芳郎・他
	388
アセトアルデヒドの代謝と毒性	松崎 松平
	392
アルコールと薬物の相互作用	野村 文夫・他
	394
アルコールの酸素消費・血流への影響	石井 裕正・他
	396
〈アルコールによる代謝異常〉	
糖代謝異常	岡 博
	400
脂質代謝異常 (尿酸代謝を含む)	武内 俊彦・他
	404
アミノ酸・蛋白代謝	平山 千里・他
	408
アルコールの水、電解質、微量物質への影響	谷川 久一・他
	410
〈アルコール依存症〉	
わが国における飲酒の実態と今後の予測	樋口 進・他
	412
アルコール依存症の疾病概念	小片 基
	416
アルコール精神病	加藤 伸勝
	418
〈臓器障害の成り立ち—なぜ起こるのか〉	
アルコール性肝障害における肝線維化の機序	岡崎 勲・他
	420
脾炎・脾石症	建部 高明・他
	424
消化管障害	佐藤 信紘・他
	426
循環器障害—アルコール性心疾患を中心に	小川 剛・他
	428
造血器障害	北原 光夫
	430
脳・神経障害 (筋肉を含む)	駒ヶ嶺正純
	434
〈診断のポイント〉	
アルコール性肝障害の診断	蓮村 靖
	436

多発性ニューロパチーの診断 篠原 幸人 438	〈肝疾患〉 急性肝炎の治療薬の使い方 日野 邦彦・他 602	〃 一サリチル酸中毒 三上 裕司・他 808
高 γ -GTP 血症の取り扱い方 加納 隆・他 440	慢性肝炎の治療薬の使い方 赤羽 賢浩 606	〃 一Renal tubular acidosis 岡本 玖美・他 810
飲酒の生化学的マーカー 岡部 和彦・他 444	肝硬変の治療薬の使い方 大和 滋・他 608	〈水電解質異常の臨床アプローチと 症候治療〉 Hyperosmolar syndrome 丸茂 文昭 812
〈アルコール救急医療〉 急性アルコール中毒 高木 敏 448	肝性腹水の治療薬の使い方 鳥居 正男 611	Hypoosmolar syndrome 和田 孝雄 816
アルコール離脱症状群 小杉 好弘 452	肝性昏睡 藤原 研司・他 614	高K血症 木野内 喬 818
重症アルコールによる頭部外傷 三井 香児 460	〈胆道疾患〉 胆石溶解剤の使い方 松崎 靖司・他 616	低K血症 藤田 敏郎 821
上部消化管出血(マロリー・ワイス 症候群を含む) 宮本 京 462	胆嚢・胆道感染症における抗生物質 の選択基準 秋山健太郎・他 619	高Ca血症 深瀬 正晃 822
〈治療上の問題点〉 アルコール依存症の治療 洲脇 寛 464	〈脾疾患〉 脾炎の治療薬の使い方 竹内 正 622	低Ca血症 川口 良人 826
糖尿病とアルコール飲料 松岡 健平 466	〈便通異常〉 下痢と便秘の治療薬の使い方 河野 実 624	浮腫と脱水 田村 克彦・他 828
内科外来での飲酒に関する指導 について 重田 洋介 468	〈鼎 談〉 消化器薬の使い方 石崎 高志 小林 純三・松枝 啓 628	〈水電解質代謝調節ホルモンの話題〉 Vasopressin 野中 達也・他 832
今月の主題・理解のための10題 石井 裕正 470	今月の主題・理解のための10題 松枝 啓 642	Atrial natriuretic peptide 雪村 時人 834
消化器薬の使い方(4) 消化器病薬—最近の進歩(editorial) 織田 敏次 558	水電解質と酸塩基平衡(5) EDITORIAL 黒川 清 742	内因性ジギタリス様物質 田中 祐司・他 836
〈消化性潰瘍〉 H ₂ -blocker の臨床薬理学 石崎 高志 560	〈水電解質の調節系概説〉 尿細管機能のホルモンによる調節 鳥養 省三 744	カテコールアミン 梅村 敏 838
H ₂ -blocker の問題点 川井 啓市 566	水代謝調節系(体液浸透圧調節系) 吉田 尚 748	PTH 富田 明夫 842
プロトンポンプおよびその阻害薬 岡部 進 568	Na 代謝調節系 阿部 圭志 752	ビタミンD 清野 佳紀 844
Prostaglandin と Cytoprotection 小林 純三 570	K 代謝調節系 加藤 暎一 756	カルチトニン 折茂 肇 846
液体制酸剤の使い方 梅田 典嗣 572	Ca 代謝調節系 稲葉 雅章・他 760	アルドステロン 東原 英二・他 852
粘膜保護剤の使い方 石森 章 574	〈水電解質異常の病態生理〉 高Na血症 菱田 明 764	キニン・カリクレイン系 富田 公夫 856
再発予防のための薬剤選択 三宅 健夫 576	低Na血症 石川 三衛 768	プロスタグランディン 佐藤 牧人・他 858
〈上部消化管出血〉 バソプレシンの使い方 正田 良介・他 580	高K血症 斉藤 郁夫・他 770	〈臨床の話題〉 尿崩症 太田 善介・他 862
〈食道疾患〉 逆流性食道炎の治療薬の使い方 関口 利和 582	低K血症 中山 真人・他 772	SIADH 齊藤 寿一 866
アカラシアの薬物療法 本郷 道夫 584	高Ca血症 永田 直一 776	特発性浮腫 福田 祐幹・他 870
〈炎症性腸疾患〉 炎症性腸疾患の薬物療法 小林 世美 586	低Ca血症 古川洋太郎・他 780	Mineralocorticoid 過剰症候群 竹田 亮祐・他 872
サラゾピリンの使い方 吉田 豊・他 590	〈酸塩基平衡の基礎と臨床—最近の話題〉 H ⁺ バランスの調節系 北岡 建樹・他 784	Mineralocorticoid 欠乏症候群 飯野 靖彦 874
ステロイドおよび ACTH の使い方 渡辺 晃 592	腎における H ⁺ 分泌機構 佐々木 成 788	副甲状腺機能低下症のビタミンD による治療 山本 通子 876
ステロイド坐薬および浣腸の使い方 武藤徹一郎 596	血液ガス値の読み方 黒川 清 790	悪性腫瘍の高Ca血症 松本 俊夫 878
メトロニダゾールの使い方 樋渡 信夫 598	Anion Gap: その意義と解釈 深川 雅史・他 794	Hypocalciuric hypercalcemia 久貝 信夫 882
〈過敏性腸管症候群〉 過敏性腸管症候群の治療薬の使い方 陶山匡一郎 600	呼吸性アシドーシス, アルカロー シスの病態生理 吉田 稔 796	ビタミンD過剰症 森田 陸司 884
	代謝性アシドーシスの病態生理 石田 尚志 800	今月の主題・理解のための10題 黒川 清 886
	代謝性アルカローシスの病態生理 小椋 陽介 802	体液・電解質補正の実際(6) 輸液療法の変遷と進歩 加藤 暎一・他 928
	特殊な疾患: 最近の話題—糖尿病性 ケトアシドーシス 加藤 哲夫 806	輸液の必要な患者へのアプローチ 和田 孝雄 932
		〈輸液の基本的ルール〉 輸液剤の分類と特性 川島洋一郎・他 936
		水, Na の投与量とスピード 北岡 建樹・他 940
		K の投与量とスピード 飯田 喜俊 942
		Ca, P の投与量 小椋 陽介 946
		Mg の投与量 吉田 政彦 950

〈新しい治療法の試み〉
 ニトログリセリン点滴静注法
 茅野 真男・他 1536
 新しい狭心症治療薬 神原 啓文 1540
 不安定狭心症に対する PTCR 療法
 南野 隆三・他 1542
 PTCR 白鳥 健一・他 1546
 PTCA 延吉 正清・他 1550
 PTCA 土師 一夫 1554
 血漿 LDL 除去療法
 (LDL-apheresis) 横山 信治 1560
 今月の主題・理解のための 10 題
 平盛 勝彦 1566

感染症の動向と抗生物質(10)

感染症へのアプローチ (editorial)
 北原 光夫 1646
 〈院外感染〉
 不明熱 (FUO) 根岸 昌功 1650
 肺炎 澤木 政好・他 1654
 嚥下性肺炎 相澤 信行 1656
 細菌性髄膜炎 渡辺 一功 1658
 尿路感染症 齊藤 篤 1660
 感染性下痢 上野 文昭 1664
 〈院内感染のマネージメント〉
 肺炎 本田 一陽 1668
 尿路感染症—尿道留置カテーテルの
 管理 中野 博 1670
 血管カニューレに合併したブドウ
 球菌感染症 小林 寛伊 1672
 敗血症 増田 剛太・他 1674
 顆粒球減少と感染症 舟田 久 1678
 骨髓移植と感染症 雨宮 洋一 1680
 感染症と隔離 渡辺 彰 1685
 手洗いの重要性 岡 慎一・他 1690
 カンジダ血症 渡辺 一功 1692
 〈細菌感染のトピックス〉
 メチシリン耐性ブドウ球菌感染症
 小田切繁樹 1694
 Staphylococcus epidermidis 感染症
 北原 光夫 1698
 Branhamella catarrhalis 感染症
 川野 晃一 1700

〈治療の進歩〉
 第 2 世代のセフェム剤を見直す
 那須 勝・他 1702
 第 3 世代のセフェム剤はどう使うか
 泉川 欣一 1706
 新しいアミノ配糖体薬のどこが
 変わったか 和田 光一 1712
 Aztreonam 河合 健 1714
 Imipenem 河合 健 1718
 キノロンカルボン酸をどう使うか
 柴 孝也 1720
 結核の短期間治療 相澤 好治 1722
 アシクロピルの使い方 中澤 眞平 1724
 重症マラリアの治療 海老沢 功 1728
 〈鼎 談〉
 感染症の動向と抗生物質
 根岸 昌功

相澤 好治・北原 光夫 1730
 今月の主題・理解のための 10 題
 北原 光夫 1742

意識障害へのアプローチ(11)

Editorial/意識障害の臨床
 高木 康行 1822
 〈意識障害の基礎知識〉
 意識の生理学 宇川 義一・他 1826
 意識の生化学 野村 宏・他 1830
 意識障害と脳循環 坂井 文彦 1832
 〈意識障害の救急処置〉 江口 恒良 1834
 〈意識障害の診断〉
 昏睡患者の診かた 高木 誠 1840
 軽い意識障害の診かた 原田 憲一 1846
 一過性の意識障害の診かた
 小林 祥泰 1850
 意識障害と鑑別すべき精神症状
 武正 健一 1854
 意識障害と脳波 柿木 隆介・他 1858
 〈脳占拠性病変と脳ヘルニア〉
 脳ヘルニアの診断 厚東 篤生 1862
 脳ヘルニアの治療 赫 彰郎 1866
 〈代謝性脳症〉
 アルコールと意識障害 駒ヶ嶺正純 1868
 糖尿病と意識障害 渥美 義仁 1870
 肝不全と意識障害 柳沢 徹・他 1872
 腎不全と意識障害 宮島 真之・他 1874
 電解質、酸塩基平衡と意識障害
 岡安 裕之 1876
 中毒と意識障害 北川 泰久 1880
 〈意識障害のトピックス〉
 視床と意識障害 秋口 一郎・他 1884
 Split brain と意識 杉下 守弘 1890
 脳死の診断基準 後藤 文男 1896
 植物状態 柳沢 信夫 1902
 〈座談会〉
 意識障害の臨床
 原田 憲一・澤田 徹
 竹内 一夫・高木 康行 1906
 今月の主題・理解のための 10 題
 高木康行 1916

血流障害と血栓・塞栓症(12)

〈病態生理〉
 閉塞性動脈疾患 都島 基夫 2006
 下肢静脈疾患 今岡 真義 2012
 〈診 断〉
 ベッドサイドでのみかた
 一閉塞性動脈疾患 塩野谷恵彦 2014
 一静脈血栓症 安田 慶秀・他 2018
 末梢動脈造影法のポイント
 大川 伸一・他 2020
 下肢静脈造影法のポイント
 小谷野恵一 2026
 超音波ドップラー法による診断
 石丸 新 2030
 アイソトープによる診断
 山田 英夫・他 2034
 肺塞栓症の診断 中野 起・他 2038

〈治療総論〉
 抗凝固療法
 一ヘパリンの使い方 小林 紀夫 2042
 一経口抗凝血薬の使い方
 青木 功 2044
 抗血小板療法 柳沢 厚生 2046
 抗凝血薬と抗血小板薬の使い分け
 本宮 武司 2048
 線溶療法 長谷川 淳 2050
 プロスタグランディン製剤
 三島 好雄 2054
 下大静脈フィルター挿入術
 古寺 研一 2056
 〈治療各論—How to manage〉
 急性動脈閉塞 中江 純夫 2060
 閉塞性動脈硬化症 石飛 幸三 2062
 パーチャー病 塩野谷恵彦 2066
 静脈血栓症 折井 正博 2068
 上大静脈症候群 高橋 幸則 2072
 肺塞栓症 岡田 道雄 2074
 原発性肺高血圧症 兼本 成斌 2076
 〈座談会〉
 肺塞栓症の診断と治療
 長谷川 淳・中野 起
 吉良 枝郎・岡田 道雄 2079
 今月の主題・理解のための 10 題
 岡田 道雄 2094

〔Current topics〕

神経内分泌学の最近の進歩
 —「神経ペプチド学」の発展
 加藤 進昌 (3) 498
 Aldose reductase 阻害剤
 堀田 饒・他 (4) 682
 睡眠と呼吸
 一とくに呼吸器疾患の臨床と関連して
 太田 保世・他 (6) 1050
 呼吸器疾患領域におけるグルコ
 コルチコイド
 泉 孝英・他 (7) 1259
 食道静脈瘤の内視鏡的硬化療法
 三條 健昌・他 (8) 1428
 AIDS—1986 倉科 周介 (9) 1603
 癌患者のターミナルケア
 三上理一郎・他 (9) 1613
 母乳による HTLV-I 母児感染説の現状
 日野 茂男 (11) 1990
 骨髓移植の現況 正岡 徹 (12) 2136

〔Series Discussion/Controversial Area〕

狭心症の治療をどうするか
 山口 徹・石村 孝夫
 外山 雅章・五十嵐正男 (11) 1964

〔カラーグラフ〕

皮膚病変のみかたとらえ方／
 石川 英一・他
 乾癬—病型のとらえ方 (1) 110
 内臓癌の存在を示唆する皮膚病変

光線過敏症の種々相	(2)	314
脳・神経系の異常の合併が疑われる	(3)	474
小児皮膚病	(4)	646
肝炎に伴う皮膚病変	(5)	890
紫斑(出血斑)の疾患別特徴	(6)	1020
悪性リンパ腫の皮膚病変	(7)	1232
サルコイドーシスの皮膚病変	(8)	1400
紅皮症	(9)	1570
爪と全身	(10)	1746
皮下の炎症	(11)	1922
白血病の皮膚症状	(12)	2098

リンパ節疾患の臨床病理/片山 勲・他

リンパ節疾患の病理	(1)	657
パーキット型リンパ腫	(5)	893
リンパ芽球型リンパ腫	(6)	1031
T cell 型リンパ腫	(7)	1235
B cell 型リンパ腫	(8)	1411
転移性リンパ節腫瘍	(9)	1581
伝染性単核症	(10)	1757
猫ひっ掻き病	(11)	1933
エイズにみられるリンパ節腫脹症	(12)	2109

〔演習〕

目でみるトレーニング

松尾尚樹・他	中居憲司・他	
宮城 征四郎	兼本 成 斌	(1) 113
兼本 成 斌	本田和徳・他	
宮城 征四郎	政 信太郎	
日 浅 芳 一		(2) 317
政 信太郎	宮城 征四郎	
上 村 旭	日 浅 芳 一	
武 野 良 仁		(3) 477
武 野 良 仁	大 野 竜 三	
上 村 旭	政 信太郎	
日 浅 芳 一		(4) 649
藤 原 秀 臣	大 野 竜 三	
上 村 旭	武 野 良 仁	
小 野 由 子		(6) 1023
小 野 由 子	近 藤 有 好	
浜 口 元 洋	藤 原 秀 臣	
小島元子・他		(8) 1403
小島元子・他	近 藤 有 好	
藤 原 秀 臣	小 野 由 子	(9) 1573
齊 藤 芳 晃	向井秀一・他	
河端美則・他	渡 辺 滋	
小島元子・他		(10) 1749
渡 辺 滋	埜 中 征 哉	
西村和彦・他	河端美則・他	
原田頼統・他		(11) 1925
渡 辺 滋	埜 中 征 哉	
河端美則・他	清田啓介・他	
原田頼統・他		(12) 2101

実践診療 EXERCISE

黄 疸	革嶋 恒徳	(1) 129
頭 痛	俵 哲	(1) 131

貧 血	赤塚 祝子	(2) 345
右胸痛	相馬 一玄	(2) 347
発熱, 息切れ	高林克己	(3) 513
激しい前胸部痛	北 祥男・他	(3) 515
前胸部重圧感	石村 孝夫	(4) 695
頸部リンパ節腫脹, 肝機能障害	織田 一昭	(4) 697
体重増加, 四肢のこばり	石沢 晋	(6) 1065
嚥下困難, 四肢の筋力低下	山崎 正博	(6) 1067
発 熱	吉村 邦彦	(7) 1257
胸部圧迫感を伴う意識消失発作	後藤 葉一	(8) 1435
突然の呼吸困難	土居 義典・他	(8) 1437
糖尿, 体重減少, 心悸亢進	織田 一昭	(9) 1621
発熱, 前頭痛	高林克己	(9) 1623
胸部圧迫感, 意識消失	石村 孝夫	(9) 1625
視力低下, 動揺性歩行	山崎 正博	(10) 1783
胸部圧迫感	後藤 葉一	(10) 1785
労作時呼吸困難	土居 義典・他	(11) 1959
吐瀉, 意識障害	石沢 晋	(11) 1961
低血糖症状	織田 一昭	(12) 2145
動 悸	石村 孝夫	(12) 2147

〔グラフ〕

内科医のための骨・関節のX線診断/水野 富一

(1) 骨・関節の基礎知識	(1)	120
(2) 主なX線所見の解説	(2)	334
(3) 血液疾患の骨病変	(3)	484
(4) 腫瘍および腫瘍類似疾患の骨病変	(4)	672
(5) 内分泌・代謝疾患の骨病変	(6)	1034
(6) 膠原病の骨・関節病変	(7)	1248
(7) 関節疾患	(9)	1586
(8) 外傷(その1)	(10)	1776
(9) 外傷(その2: 脊椎)	(11)	1948
(10) 外傷(その3: 胸郭, 骨盤, 四肢)	(12)	2114

消化管造影 基本テクニックと Pitfall

食道(1)―撮り方, 正常例の読み方	山田 明義・西澤 護	(2) 324
食道(2)―異常像の読み方	山田 明義・西澤 護	(3) 491
食道(3)―食道疾患の読み方:		
食道内腔の病変と食道外病変	山田 明義・西澤 護	(4) 662
食道(4)―食道炎, 食道潰瘍	山田 明義・西澤 護	(5) 896
食道(5)―隆起性病変をどう読むか	山田 明義・西澤 護	(6) 1044

食道(6)―食道癌	山田 明義・西澤 護	(7) 1240
胃(1)―撮り方, 正常例の読み方	西俣 寿人・西澤 護	(8) 1416
胃(2)―異常像の読み方: 胃外病変	西俣 寿人・西澤 護	(9) 1596
胃(3)―異常像の読み方: 胃病変のひろいあげ診断	西俣 寿人・西澤 護	(10) 1762
胃(4)―隆起性病変: ポリープ(1)	西俣 寿人・西澤 護	(11) 1938
胃(5)―隆起性病変: ポリープ, 粘膜下腫瘍	西俣 寿人・西澤 護	(12) 2126

〔講 座〕

図解病態のしくみ 内分泌代謝疾患

1. 末端肥大症とプロラクチノーマ	岡田 耕治・他	(1) 134
2. クッシング病・クッシング症候群	金子 健蔵・他	(2) 349
3. 下垂体前葉機能低下症	石川 三衛・他	(3) 518
4. SIADH(ADH 分泌不適合症候群)	斉藤 寿一・他	(4) 702
5. 尿崩症	石川 三衛・他	(5) 906
6. 甲状腺機能亢進症	斎藤 公司・他	(6) 1072
7. 甲状腺機能低下症	山本 邦宏・他	(7) 1272
8. 甲状腺腫瘍	斎藤 公司・他	(8) 1440
9. 副甲状腺機能亢進症	山本 邦宏・他	(9) 1630
10. 副甲状腺機能低下症	斉藤 寿一・他	(10) 1794
11. インスリン依存性糖尿病(Insulin Dependent Diabetes Mellitus: IDDM)	吉岡 成人・他	(11) 1982
12. インスリン非依存性糖尿病(NIDDM), その他の糖尿病	栗田 卓也・他	(12) 2150

臨床ウイルス学

7. EBウイルス感染症	大里外誉郎	(1) 144
8. ウイルスと肝炎	岡本 宏明・他	(4) 710
9. 肝臓とウイルス	服部 信・他	(6) 1078
10. 成人T細胞白血病のウイルス	小林 進・他	(7) 1280
11. 癌とレトロウイルス	西澤 誠・他	(8) 1446

海外留学ガイドランス/大石 実

カナダ留学と Evaluating Examination	(1)	156
イギリス留学と PLAB 試験	(2)	362
ドイツ留学とドイツ語	(3)	530
フランス留学とフランス語	(4)	718

英独仏語医学会話(1)―初診患者(6) 1086
 英独仏語医学会話(2)―再来患者(7) 1288
 英独仏語医学会話(3)―入院患者(8) 1454

診療基本手技

糖尿病性昏睡の救急処置
 西崎 統・他(1) 152
 運動負荷心電図―とくに treadmill
 について 峯石 真・他(2) 358
 腎生検の手技と要点
 福田 博之・他(3) 526
 輸液―その選択と適応―
 西崎 統(6) 914

新薬情報／水島 裕・他

アシクロビル(Aciclovir) (1) 160
 サンディミュン(Sandimmun)
 (2) 366
 アルボ (4) 722
 ミラクリッド(Miraclid) (5) 918
 経皮吸収型亜硝酸剤 (7) 1294
 デソバン錠 (8) 1465
 ブロンコリン (10) 1789

感染症メモ／梶田 啓子

緑膿菌敗血症 (1) 162
 無菌性感染性心内膜炎 (2) 368

イミペネム―新しいクラスの
 β -ラクタム抗生物質 (4) 700

学会だより

アメリカ内科学会(ACP)総会
 印象記 上野 文昭(8) 1460

一冊の本

「シグダールタ」岩渕 勉(1) 155
 「Multiple Myeloma」
 高月 清(2) 361
 「疫病と孤憑き―近世庶民の医療事情―」
 竹本 忠良(3) 529
 「Enjoying Life with Emphysema」
 松村 理司(4) 717
 「結核の病理」梅田 博道(5) 917
 「白楽天」屋形 稔(6) 1085
 「歴史」長廻 紘(7) 1287
 「風 貌」砂原 茂一(8) 1453
 「いま改めて看護とは」
 中木 高夫(9) 1637
 「Bedside Cardiology」
 宮城征四郎(10) 1801
 「ガン回廊の朝」柴田 一郎(11) 1981
 「The Logic of Scientific
 Discovery, 2nd ed.」
 倉科 周介(12) 2159

CPC／結研グループ

悪性リンパ腫の治療中に出現した
 びまん性肺病変 (2) 370
 右肺門部の塊状影および右肺門・
 縦隔リンパ節腫大がみられた
 28歳男性 (4) 724

CPC／旭中央病院

肝障害と大球性貧血があり、心臓
 ペースメーカー植え込み、S状
 結腸癌手術後貧血が進行し、肝
 不全を呈して死亡した症例(1) 165
 背部痛、貧血、DICで発症、腹部
 超音波検査で“脾のう胞様病変”
 が認められ摘脾を行った67歳女
 性 (3) 534
 感冒様症状に続き、著明な心拡大、
 肝腫大をきたした11歳男児(6) 1092
 SLE 12年の治療経過中に動悸、
 息切れを主訴に入院しショッ
 クで死亡した32歳の女性 (10) 1802
 脳腫瘍に対する放射線治療後、発
 熱、喀痰が出現し、胸部X線写
 真上両側びまん性浸潤影を呈し、
 心室細動で死亡された71歳男性
 (12) 2160